

平成 22 年度

学校目標と自己評価

敬愛学園高等学校

「学校自己評価」の目的

本校の教育目標・重点目標・学校経営に基づいて取り組まれる教育活動及び学校運営の状況について客観的・総合的に評価し、改善策・向上策を明らかにして行く活動として平成 18 年度から取り組んでいます。

- ◎ 私学として学校の組織や教育活動を活性化させ、より良い学校づくりを進める。
- ◎ 教職員の共通理解のもとに、組織としての継続性を持たせる。
- ◎ 私学の独自性のもとに、地域の信頼と協力を得るとともに、開かれた学校づくりを進める。

学校評価

礼儀作法 基礎的・基本的学力 伝達能力 理解力

幅広い教養

コミュニケーション能力

基礎・基本的技術・体力

思考力・実践力・表現力

社会に信頼される学校

中学校・塾・PTA・地域社会

望ましい勤労観・職業観を育む進路指導(キャリア教育)

年間指導計画に基づく学習指導 豊かな人間性を育む生徒指導

適切な教育課程の編成・実施

特別活動と部活動の充実

生命を尊重し、健康・安全を大切にする指導

説明責任・教育活動評価

情報発信、教育活動の公開、業務の効率化、情報交換、分掌業務の精査、反省(評価)から改善

使命感と情熱・傾聴の姿勢

授業公開と合評

校内研修

生徒理解

相互評価

研修

生徒への期待感 実態把握

学校経営評価

研修成果の共有

授業が変われば生徒が変わる

教員が変われば生徒が変わる

校長が変われば学校が変わる

【P・D・C・A サイクル】 (本校) 学校評価委員会〔運営委員会〕

Plan

年間教育計画策定
評価目標の決定

Action 指導計画改善

Do 実践

Check 内部評価
検討(反省・総括)



学校法人 千葉敬愛学園

敬愛学園高等学校

平成 22 年度 教職員必携

教育基本計画（指針）

（ 目標と課題 ）

= 特色ある『敬天愛人』教育の創造 =

《 目 次 》

千葉敬愛学園教育理念	・ ・ (1)
学校経営立案趣旨	・ ・ (2)
教育基本方針	・ ・ (4)
本校の教育目標	・ ・ (5)
めざす学校像	・ ・ (6)
特色ある学校づくり	・ ・ (7)
現状と課題	・ ・ (10)
学校経営の重点	・ ・ (14)
具体的努力目標	・ ・ (20)
創立者のことば	・ ・ (27)
教育基本法(抜粋)	・ ・ (28)
勤務の心構え	・ ・ (30)
学級担任の任務	・ ・ (34)
新入生の指導	・ ・ (37)
学年主任・部長の職務内容	・ ・ (39)
主任・室長の職務内容	・ ・ (43)
学校評価の意義と課題	・ ・ (46)

夢実現 = K3

健康

(心と身体)

感動

(生徒と教師)

感謝

(周りの人々)

・ ・ めざす学校 (Only one) ・ ・

- ・ 生徒と教職員が共に明るく 「行動・実行する学校」
- ・ 信頼と敬愛に結ばれた 「互いに認め合う学校」
- ・ 絆(和)と規律の保たれた 「和やかな学校」
- ・ 学ぶ場にふさわしい 「環境を整えた学校」
- ・ 日々研修に励み 「探求する学校」
- ・ 家庭と地域の連携強化 「地域に信頼される学校」

めざす生徒像 = 自信と誇りの生徒(愛校心) =

(千葉県で1番挨拶をする高校)

- ① 礼儀正しく(挨拶の励行)、思いやりのある生徒 (内省・誠意)
いじめは「しない」・「させない」・「見逃さない」
- ② 自分の行動に責任を持てる生徒 (自主、創造)
ルールとマナーを守る (規則と時間の厳守)
- ③ 心身の健康と安全に注意し、体力の向上に励む生徒 (健康)
早寝・早起き・朝ごはん (大きな声で校歌を歌う)
- ④ 基礎学力を修め、主体的に学習する生徒 (家庭学習・自主)
家庭学習の習慣を身につける (家庭学習の徹底)
- ⑤ 奉仕、勤労をいとわぬ生徒 (勤労・責任・感謝)
地域・校内美化に協力する (教室清掃の徹底)

【千葉敬愛学園の教育理念】

本学園の教育は、建学の精神「敬天愛人」を究極の目標とする。

本学園の教職員は、建学の精神に基づき、次の諸点に留意して日常の教育実践に全力を傾注する。

1. 学生・生徒の一人ひとりが具有する天与の人間性と可能性を信じ、敬愛の念をもってその教育に当たる。

本学園の教育の要諦は、学生・生徒一人ひとりが、自己の可能性と人格の尊厳に目覚め、自立自尊の道を邁進するよう指導することにある。

2. 学業並びに生活指導においては、個性的で独創的な才能の開発に重点を置くと共に将来への多様な希望を達成させるよう進路指導をする。
3. 時勢の変化と教育に対する社会的ニーズの推移に対応し、特色ある教育の創出に努力する。
4. 公教育機関としての本学園は、真理と道義を尊び、愛情に富み、平和的な国家・社会に貢献し得る有為な人材を育成して、社会の付託に応えんとするものである。

【本校教育の基本方針】

不易の「建学の精神」を生かす

21世紀は国際化・情報化が更に進展し、創造力豊かで個性的な人間が必要とされている時代です。「敬天愛人」を基本として人を思いやる「心」を育てる教育を確立することです。又、敬愛大学との高大連携を重視し、教育課程も柔軟性のある教育の実現を図り、社会に役立つ人間の育成が重要です。このために建学の精神である「敬天愛人」を教育の本旨に位置づけています。

【教育目標】

- ① 敬天愛人の精神に基づく「心の教育」に全力を注ぐ。
= 天地の大道を敬い、人の痛みのわかる人間の育成 =(内省)
- ② 「生きる力」の根源となる個性と能力を伸ばす教育をめざす。
= 人生を切り拓き、自己の能力を伸長する人間の育成 =(自主)
- ③ 国際化・情報化社会に対応する教育をめざす。
= 豊かな人間性と社会性、国際社会に生きる自覚の育成 =(理解)
- ④ スポーツ・部活動をとおして、丈夫な身体と健全な精神を育成する。
= 体力の維持向上と心身の健康の保持増進と育成 =(健康)

(4) めざす教職員像 = [敬天愛人]を実践する教師(聖職者) =

- ① 愛情と厳しさをもち、生徒に慕われる教師。(内省)
- ② 敬天愛人を実践する面倒見の良い教師。(誠意)
- ③ 品格と活力を持ち、保護者・生徒・地域の信頼に応える教師。(責任)
- ④ 職務を自覚し、お互いに協力し(報告⇒連絡⇔相談)責任感の強い教師。
- ⑤ 自己研修と創意・工夫に努め、生徒と共に伸びる喜びを感じずる教師。

【自分と学校】の見地から【自分の学校】への意識改革

特色ある学校づくり (制度の改善と充実)

(1) 敬愛学園高校に自信と誇りを持たせる学校づくりを推進する。

- ① 学園高校の特色は何か。生徒は何を期待して入学してくるのか考える。
- ② 生徒や保護者の「夢」実現のため、全職員で汗を流す。
- ③ 授業を大切にす。(学校教育の柱は授業)
- ④ 広い視野に立ち、家庭や地域に信頼される学校づくりに努める。
- ⑤ 本校が、中学生にとって「行きたい学校」、保護者が子供を「行かせたい学校」をめざす。
- ⑥ 情報開示、説明責任が求められる時代です。
- ⑦ 服務規律の確保に努める。
- ⑧ 「例年通り(従来)・・・」から脱却、創意工夫と改善を図る。
- ⑨ 仕事には厳しくても和やかな職場、お互いに相談しあえる職場作りを心がける。【敬天愛人の精神】
- ⑩ PTA や地域社会と連携し、生徒・保護者・地域の人々の願いに応える教育に努める。

(2) 清新にして、活力ある学校づくりを推進する。

- ① 教職員ひとり一人が、**学校経営上かけがえのない一員であることを自覚し、相互(報告・連絡・相談の徹底)の信頼「絆」と協力のもと、何事にも積極的に取り組む協働的気風を大切にする。**
- ② **人と一緒に仕事をする場合、人には楽しい仕事を回し、自分は難儀な仕事を担当するとよい。そうすると仕事そのものは苦しいけれども気分は爽快である。自分が楽しい仕事を担当し、人に面倒な仕事を回せば、楽が出来てスムーズに運ぶが、気分は良くないものである。人はどんなに忙しくても、静かな時のような心境を保たなくてはならない。また、どんなに苦しい時でも、その中で楽しみを見つけて保つ工夫が無くてはならない。(佐藤一斉著：儒学者)**

(3) 心豊かで、充実した学校生活を推進する。

- ① 生徒一人ひとり教育課題に取り組み、個々にあった計画・実践・評価・改善により生徒の持つ力を伸ばす教育活動を進める。(P・D・C・A)
- ② 深い生徒理解(カウンセリングマインド)のもと、一人ひとりを大切にし、共感と感動のある学校生活をめざす。
- ③ 生徒と共に学習環境づくりに努めると共に、その効果的な活用を推し進める。(時にはカウンセリング室・保健室・進路指導部・生徒指導部等と連携を図り、学年として取り組むチームワーク(絆)が必要)
- ④ すべての教育活動を通して、健やかな心身と社会(集団)性の発達を助長すると共に、生徒の生涯にわたる人間として調和のとれた育成をめざす。また、教育活動を進めるにあたっては、生徒に「生きる力」を育むことをめざし、敬愛学園高校の特色ある**3のコース**と**英国留学制度**の教育活動を展開する中で、自ら学び、自ら考える力の育成を図ると共に、基礎的・基本的な学習内容の確実な定着を図り敬愛教育の充実に努める。

(4) 3コースの改善と充実。教育課程(カリキュラム)の見直し(教科指導の充実)

- ①基礎・基本の学力充実をはかる。(習熟度別授業の改善と赤点補習)。
- ②進路に応じた3コースの教科・科目選択の導入、進路先の保証。
- ③高大連携(敬愛大)・短大・幼稚園・相互乗入れの具現化。
- ④新教育課程(3コースと留学制度)の改善を図る。(毎年見直し実施)
- ⑤特進コースは3年間のシラバスと進学実績の積み重ねと自助努力。
- ⑥進学コースは多様性をもったカリキュラムの検討と改善を継続実施。
- ⑦人科コースは大胆なカリキュラムによる進路保証ができる検討と改善。
- ⑧授業時間の確保(土曜日(休日)の活用・模試・講座・行事等)
- ⑨授業時間の確保から1時間を45分とし7時間授業をH24年度実施。
- ⑩全教科・科目の履修と修得を徹底させる強力な指導。
- ⑪授業確保を考えた各種行事の見直しと調整・曜日の格差が生じた場合の均等化(継続)
- ⑫適切な評価基準・評価方法を明確にし、補習等も含め学習指導の改善を図る(継続)
- ⑬学習習慣の定着(宿題・課題・平常テスト等を課す)(継続)
- ⑭新教育課程実施検討(継続)

(5) 国際化・情報化社会と英国留学制度(国際理解教育)の充実と発展

本校の特色であり教育目標の一つである国際化・情報化社会の変化に対応した教育を推進する、国際理解教育の充実やITの活用により教育活動の充実を図る。(内外に向けた広報活動を展開)

H22.10.23を国際理解教育交流記念日とする。(国際理解教育強調月間)

- ①国際交流の推進、夏期語学研修、英国留学(教員の相互交流、改善と充実)
- ②敬愛大学国際学部との連携 (7年間コースの国際理解教育の推進)
 - ◎高校 高1学年(日本)事前学習(ALT授業)
高2学年(英国)現地学習(アレキサンダー・シェフィールド・ベバリー・ホソシー)
高3学年(日本)事後学習(ALT授業) (国立ハル大学指定校推薦)
 - ◎敬愛大学 大1年生/在(日本) 大2年生/在(英国)(ハル大学)
大3年生/在(日本) 大4年生/在(日本)or(ハル大学卒)
- ③学園高校とベバリー高校教員との相互交流研修の促進
- ④外国の教育機関との交流(姉妹校教職員・生徒の交流)
- ⑤ホソシー・ハイスクールとの関係強化計画の推進。
- ⑥英国留学と国際理解教育の充実を図るため日米文化学院と連携。
- ⑦国際理解教育を推進するための行事(月間)を年間計画に盛り込む。(10月)
- ⑧英国留学制度の名称をコース(クラス)に変更し3年間の教育課程(カリキュラム)を策定し公表する。
(クラスは25名を基準とする)
- ⑨夏期短期留学の改善(両学園・敬愛グループ)との連携と充実を図る。
- ⑩ITを使い姉妹校との生徒同志の情報交換を積極的に進める。
- ⑪英国留学生(コース)が、日本において英国高等学校卒業資格認定取得が可能か否か検討。
- ⑫ホームカミングの企画と父母会による留学生募集を検討。

(6) 生徒募集と入学者選抜(試験)方法の改善と強化

- ①受験生の減少と生徒・保護者の学校評価の対応を具体化する。
(父母懇談会・ルームPTA・教育・進路講演会・生涯学習PR・等々)
- ②情宣(広報)活動の見直しと充実を図る。(入試検討委員会)
(入試広報・国際交流・クラブ活動・授業の公開・保護者向け夕刻説明会等)
- ③前期・後期・専願、併願、推薦基準、特待制度、クラブ推薦基準等再検討。
(皆勤・漢検・数検・英検・同窓生・得意科目・校長推薦枠拡大等々)

- ④中学校と学習塾との連携強化対策。（定期的に本校資料配布）
- ⑤中途退学者・授業料未納者の撲滅に努める。（日常の教育活動の充実）
- ⑥ I Tによる本校 H/P の改善と積極的な P Rを図る。（提言）
メディア・P R（他校を参考に積極的 P R・部活・行事・話題ニュース 等）
- ⑦個別相談と夏期休業中の体験入学、授業等の実施等。（設定日調整）
- ⑧全教職員で取り組む姿勢の構築と中学校訪問を検討。
- ⑨新入生（3月説明会）から入学式までの教育的指導方法の検討
（併願受験者心理を払拭させる指導内容の検討）
- ⑩経営の見地から適正な学則定員の見直しを検討。
- ⑪入試関係資料の充実と分析（継続）
- ⑫中学校・塾訪問と、H/Pを含めた計画的な広報活動の推進（継続）
- ⑬全教職員による入試説明会の効果的運営（継続）
- ⑭中学校・保護者に信頼される入試相談のあり方の確立（継続）

本年度の現状と課題（報告・連絡・相談）報連相の徹底

- ① 建学の理念・教育方針の具現化・実践化を図る。 《「敬天愛人」LHR委員会》
- ② 良き伝統を維持し、変化する社会に即応した特色ある学校経営の実現に努める。
《運営委員会》・《将来構想座談会》・《同窓会検討委員会》
- ③ 進学校として教育課程を確立し、生徒の実態に即した教育計画カリキュラムの研究と実践に努める。
単位の履修と修得の徹底 《教育課程検討委員会》
- ④ 校務分掌の円滑な運営により、調和と統一のある教育活動を推進する。
《行事改善検討委員会》・《将来構想座談会》・《学年主任連絡会議》
- ⑤ 学校の環境美化と施設設備の重点的な整備を図り、適切な管理と運用に努める。
《労働安全衛生委員会》 [生徒会]
- ⑥ PTA 同窓会との連携を軸に教育活動への協力体制を確立すると共に家庭や地域社会に開かれた
学校づくりに努める。 《同窓会検討委員会》・《生涯学習講座検討委員会》・《HPPR 検討委員会》
- ⑦ 経費節減に努め、財政の安定化を図る。《労働安全衛生委員会》・《入学試験検討委員会》・《運営委員会》

研究・研修の充実 — 教職員としての力量の向上をめざす —

（教職員研修と公開授業の実施）

- ① 生徒の教育にあたる教職員としての自覚に基づき、不断の研修を通して使命感や倫理観、専門性を高め、
教職経験や学校内の立場、役割に応じた資質能力の向上に努める。両学園の合同研修会を企画する。
- ② 敬愛学園高校生徒の「教育的課題」解決のため、学年・教科・教務・等組織的・継続的な研修・研究を
推進する。
- ③ 学校内で実施する研修の重要性を認識し、教職員の共通理解のもとに、本校の実態等に即して、課題解決
のために研修を計画的に推進する。
- ④ わかりやすく、楽しく、厳しく、居眠りできない様な授業の展開と赤点者の補習を行う。 宿題・課題・
平常テストを課す。（ルムPTA 保護者面談）

（全教職員による校内研修の充実と学校評価）

- ① 「両学園合同研修会」への積極的参加を促進（継続）
- ② 学年・教科・教務等、組織的・継続的な研修・研究の充実（継続）
- ③ 公開授業を通して教員としての力量の向上を目指す（継続）
- ④ 学校運営の改善を目的とする学校評価の実施（継続）

学校評価の意義と課題 (学校評価は学校運営の改善を目的とする)

- ① 学校教育目標の設定、具体的方策の立案、自己点検・自己評価等を通して、教職員ひとり一人の果たすべき役割が明瞭化され、組織的な教育活動を充実・強化できる。
(自己評価・学習指導・クラス経営・生徒指導・学校運営等)
- ② 教職員一人ひとりがもてる力を最大限に発揮し、能力開発に努めることにより、さまざまな教育課題に一層効果的に取り組むことができる。
- ③ 評価結果の公表については、充分検討を加え情報発信することにより、学校への信頼が高まるとともに、保護者や地域との連携が深まる。(外部評価・教育計画・情報・施設設備・生徒指導・進路指導等)
- ④ 学校評価を実効あるものにするためには、学校評価の意義と課題を明らかにし、学校評価を進める上での基本的な考え方を確立するとともに、教職員の共通理解が必要不可欠である。(第三者評価)

保護者による学校評価アンケート結果

ご協力ありがとうございました。

平成 22 年 4 月 24 日(土) 公開授業日実施

- | | |
|------------------|----------------------------|
| 5 そう思う (よく当てはまる) | 4 どちらかというと思う (やや当てはまる) |
| 3 どちらともいえない | 2 あまりそう思わない (あまり当てはまらない) |
| | 1 まったくそう思わない (まったく当てはまらない) |

(注) 5~1は度数の%表示です。「上段は今年度・下段は昨年度」 (回答数 277)

アンケート内容 (公開授業に参加なさった方のご感想)		5	4	3	2	1
学校全体	1 敬愛学園高校の校舎・特別教室・体育館など教育施設・設備は十分に整っていると思う。	38.0 20.1	40.8 46.3	11.1 24.7	8.1 5.2	2.1 1.7
	2 本校の清掃状況など環境整備は十分だと思う。	29.5 26.2	39.3 46.4	22.5 23.2	7.8 4.2	0.9 0.0
	3 本日公開授業にあたっての受付・案内等は十分行き届いていると思う。	57.6 47.2	32.3 34.5	7.1 12.8	2.0 4.4	1.0 1.1
生徒指導	4 本校では、服装・頭髪等の指導が十分なされていると思う。	28.0 22.2	41.0 49.1	21.0 21.7	10.0 6.4	0.0 0.6
	5 生徒は、来校者に対しきちんとした挨拶が出来ていると思う。	19.5 12.1	34.5 37.0	24.5 37.0	18.4 13.3	3.1 0.6
授業関係	6 生徒は、集中して授業内容に取り組んでいたと思う	36.3 21.1	32.0 47.4	18.5 26.3	11.2 5.2	2.0 0.0
	7 教員の指導方法に、工夫や情熱が感じられた。	38.2 31.9	38.0 49.6	19.4 17.0	2.2 1.5	2.2 0.0
	8 授業内容は、明確でわかりやすかったと思う。	38.4 31.3	34.3 47.3	22.0 19.9	4.3 1.5	1.0 0.0
	9 授業の速さ、進め方は適切だったと思う。	30.0 23.1	42.2 49.2	20.1 26.2	6.6 1.5	1.1 0.0
広報	10 地域や保護者の皆様に教育活動等について広報活動に努めていると思う。	29.5 18.0	40.0 45.4	27.4 33.1	3.1 3.5	0.0 0.0

(アンケート結果の概要) 全項目の5段階平均値が4に近く全体的な傾向としては、学校に対するほぼ高い信頼度があるようです。無記名自由記入でしたが特に生徒指導と授業関係については今後の参考にしたいと思います。